第3学年社会科学習指導案

1 小単元名 買い物たんてい団 ~さぐれスーパーマーケットのひみつ~

2 指導観

こんな子どもだから

○ これまでの学習を通して、弥生 校区にある店や会社、交通の様子 に興味をもち、進んで学習に取り 組むことができるようになってき ている。

(関心・意欲・態度)

○ これまでの学習を通して、人々の多くは平地で暮らしていること、それは、交通網の発達により便利な生活が送れることとかかわりがあることを学習してきている。このような学習を通して、自分たちの暮らしを、社会の様子と結びつけて考えることができるようになってきている。

(思考・判断)

○ これまでの学習を通して、写真 やグラフ等の資料を読み、学習問 題の予想を立てることはできるよ うになってきている。しかし、予 想を確かめるために自分で資料を 集めたり選んだりする力は、まだ、 十分に育っていない。

(観察・資料活用・表現)

○ 家の人と一緒に買い物をしたり ひとりで買い物をしたりする経験 はあるが、そのときに、店が行な っている工夫に気付いて買い物を している子どもは少ない。

(知識・理解)

こんな教材で

本小単元は、「地域には販売に関する仕事があり、自分たちの生活を支えていること」「地域の人々の販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域等とのかかわり」の2点について見学したり、調査したりして調べ、仕事に携わっている人々の工夫を具体的に考えることをねらいとしている。

ここでは、販売に関する仕事として、校区内にあるA店を取り上げる。A店を取り上げることは、次の点で価値があると考える。

- ① A店は、食料品から日用品まで生活に必要なものがそろう店であり、家の人がよく利用している店でもある。また、ほとんどの子どもたちも利用した経験がある。
- ② A店で買い物をする家の人に, 気を付けていることを聞いたり, 買い物の仕方を見学したりすることができる。
- ③ 身近にあるために、いつでもくり返し調べに行ったり、店の人にインタビューしたりすることができ、意欲的な調べ活動が可能である。
- ④ 店の入り口近くには地場産の作物が置いてあったり、パック詰めされた商品には産地が書いてあったりする。A店の商品を通して、他地域との関連もとらえることができる。

以上のように、A店は、働いている人の姿を 身近に何度も見ることができ、疑問に思ったこ とをすぐ確かめにいくことができる等、子ども たちにとって体験的な学習活動を組むことがで きる教材であり、さらには、子どもたちが販売 者側の工夫と消費者側の願いを関連付けて考え、 自分たちの生活を支えている事を考えることが 期待できる価値ある教材であると考える。

こんな方法で

【つかむ段階】

買い物調べから学習問題をつくるために, 次の手だてをとる。

- 家の人は、どこでどんな物を買っている のか聞き取り調査を行う。
- 調べたことから、他店に比べてA店に客 の数が多いことに疑問を持たせる。

学習問題

なぜ、A店はお客さんが多いのだろう。

自分の予想をはっきりさせ、追究の見通し を持たせるために、以下の手だてをとる。

- 自分の経験や家の人の話から、学習問題 に対する予想を立てさせる。
- 「A:商品の品ぞろえに工夫があるから」 「B:お客さんが買い物をしやすいように 工夫がされているから」という2人の児童 の予想を提示し、わけの違いに着目させて、 自分のものと比べさせる。その際、各自が 作った予想カードを用いる。
- 話し合い活動の後,自分の予想とそのわけの修正を行い,調べる内容を決める。

【さぐる段階】

こだわりを持って追究活動ができるように 次の手立てをとる。

- 店や客の取材をさせる。
- 調べたことを、絵や写真、グラフ等を使って、自分の資料として表現物にまとめさせる。

【まとめる段階】

学習問題に対する確かな自分の考えを持た せるために、次の手だてをとる。

- 画用紙に学習問題の答えを書いた表現物 と,自分が作った資料を使って説明させる。
- 2つの考えを提示し、2つの考えの中に ある「販売者側の工夫=消費者側の願い」 を、「いろいろな種類があって自分のほし い物が選べる」「駐車場が広いから車で来 やすい」等、客の言葉を通して理解させる。

こんな子どもへ

○ 地域にある商店の中で、A店に客が 多いわけについて課題意識をもち、意 欲的に調べようとする子ども

(関心・意欲・態度)

○ 地域の商店で販売に携わる人々は、 消費者の願いに合わせて、宣伝や値段、 陳列の仕方等を工夫していることや、 そのことが、消費者だけでなく販売者 の利益にもつながっていることを考え ることができる子ども

(思考・判断)

○ 地域の商店の見学や販売に携わる人々へのインタビュー等,具体的に観察や調査を行い,画用紙に自分の考えをまとめたり,その根拠を示すために,自分の資料を作ったりすることできる子ども

(観察・資料活用・表現)

- 地域の商店は、消費者の願いに応え ながら利益を上げる工夫をしているこ とを理解できる子ども
- わたしたちの生活は商品を通して他 地域ともつながっていることを理解す ることができる子ども

(知識・理解)

3 指導計画(15時間)

	1	計画(10時間)	
段階	配時	学習活動と内容	支 援
	7	1 買い物調べを行い、気付いたことを話し合う。	○ 家の人がどこでどのよう
	(I)	(1) 買い物調べを行う。	な買い物をしているのか知
	•	・どの店で、何を買ったのか、どこで生産されたものかを	るために1週間買い物調べ
		1週間調べる。	を行う。
		도 성급[H] H/메 - O 0	でもう。 ○ 学習問題の予想につなぐ
	(1)	(2)買い物調べの結果について話し合う。	ために、なぜ、その店を選
	1)	・A店は火曜日が安売りの日なので、お母さんはいつも火	んでいるのかを調べ、発表
		曜日に買い物に行きます。	させる。
		唯日(C貝V 100(C1) さより。	○ 地域にはどのような店が
	2	2 校区にある店の見学を行う。	あり、どのような様子なの
	4	(1) スーパーマーケットのA店, コンビニエンスストアの	かを児童全員が知るため
		B店、ドラッグストアのC店を見学する。(2) 見学して分かったことを話し合う。	に, 見学を行う。 ○ 見学の際に, 店の場所・
		(2) 見字しく分かったことを話し合う。 ・A店には主婦やお年寄りなど人がたくさんいた。	○ 見子の際に,店の場所・ 店内の様子・人の様子を調
		B店では、お昼におにぎりやパンを買う人が多かった。	べるよう指示する。 ○ 前時の校区の店見学を思
	2	3 見学したことをもとに、学習問題をつくる。	○ 前時の校区の店見子を思 い出し,校区内にはどこに
7	4	3 見字したことをもとに、子盲問題をつくる。 (1)買い物調べの結果をグラフにまとめる。	どんな店があるのか確認し
		・A店に買い物に行くお家の人が一番多い。	ながら、地図にまとめる。
カュ			
1/13		(2) 見学の結果や買い物調べの結果から疑問に思ったこと を話し合い,学習問題をつくる。	○ 家の人はA店に行くこと が多いということを,視覚
		で叩い口(、十日内枢とランな)。	か多いということを、祝見 的にとらえさせ、学習問題
<i>ts</i>		学習問題	をつかませるために、家の
ا بي		なぜ、A店はお客さんが多いのだろう。	そうがませるために、家の 人がよく行く店調べの結果
		(3) 学習問題に対する予想を書く。	を地図に書き込む。
	1	4 学習問題に対する予想を交流し、自分の考えを書く。	学習を見通す活動 自分の考えをはっき
	本		りさせ、追究の見通しを
	時	【A:商品の品ぞろえに工夫があるから】 【B:買い物がしやすいような工夫があるから】	もたせるために
	2	わけ、「おはないない」というない。	■ ○ 買い物調べの結果 ■ や見学から考えた自
	組	A店にお客さんが多い A店にお客さんが多い のは タハ 買い物カゴス	分の予想を、表現物に
	.,	のは、多分、卵や牛乳等、 のは、多分、買い物カゴを 同じ物でもいろいろな種 乗せるカートがあって、た	表しておく。
		同し物でもいろいろな種 来せるカートがあって、た 類や大きさがあって、自分 くさんの買い物が簡単に	│ ○ 「A:商品の品ぞろ えに工夫があるか
		が必要な物を選ぶことが できるからだと思います。	ら」,「B:買い物がし
		できるからだと思います。	やすいような工夫が
			あるから」の2人の代 表児童の予想の違い
		(1) 2人の代表児童の予想をもとに話し合う。	をもとに、AとBの予
		・いつも、新鮮なものが置いてある。	想の違いを意識させ ながら、自分の予想に
		・タイムサービスや半額のシールをはって、商品を安く売	こだわりをもたせる
		っている。	話し合いを行う。
		・買い物のついでにATMを利用できる。	
		(2) 学習問題に対する自分の考えをまとめる。	
		- 2 5 -	

5 追究活動を行い、自分の考えをまとめる。 z (4) (1) A店に見学に行き、店の人や客に取材をする。 品質チェックについて ぐ ・商品の種類と数 ・通路の広さ る (2)調べたことをもとに、「学習問題に対する自分の考え」 を表現物にまとめる。 6 学習問題に対する自分の考えを交流し、自分の考えを確 2 (1)かなものにする。 本 【A:商品の品ぞろえに工夫があるから】 時 ① 新鮮な商品 1 ・時間を決めて、品質チ 組 ェックをしている。 とれたての野菜をトラ ックで運んでいる。 ② 安い商品 ・毎週火曜日は安売りを ま している。 ・プライベートブランド の商品がある。 だから、A店はお客さん لح が多い。

【B:買い物がしやすいような工夫があるから】

- ① 広い通路
 - ・カートが2台同時に通 ることができる。
- ② 広い駐車場
 - ・車で来てたくさんの物 を買える。
 - ・遠くから来ることがで きる。

だから、A店はお客さん が多い。

○ 調べたことを資料にまと めるために, 写真が必要な 場合はとっておくよう指示 する。

- 交流・評価する場面 自分の考えを確かめ るために
- A の考えをピンク, Bの考えを水色の紙に まとめ、自分はどちら の考えであるかはっ きりと分かるような 表現物づくりをして おく。
- AとBの2人の代表 児童の考えを中心に 話し合い, どちらにも 共通すること (客に来 てもらうための店の 工夫である) に気付く ことができるように. [つの共通部分に目 を向けた話し合いを 行う。

【B: 買い物が 【A:商品の品 【C:消費者の しやすいよ ぞろえに工夫 願いに応える うな工夫が があるから】 ための工夫】 あるから】

願いを関連付けて考えるこ

○ 販売者の工夫と消費者の とができるようにする。

- 客に来てもらうための工 夫は, 売り上げを高めるた めであることに気付かせる ために, 特売日のことを取
- り上げて話し合いをさせ

る。

る

8

看板がある。 • ATM がある。



(1) 2人の代表児童の考えをもとに話し合う。

季節に関する物のコーナーがある。

・商品の種類が豊富である。

消費者のニーズに応えるための工夫である。

(2) 学習問題に対する自分の考えをまとめる。

A店にお客さんが多いのは、お客さんの願いに応じ て、商品の工夫をしたり、買いやすさの工夫をしたりし ているからお客さんが多いことが分かった。

- 7 「お客さんのことばかり考えていてお店はもうかるの か」について話し合い、学習のまとめをする。
 - ○週に1回の特売日
 - ・他の商品も一緒に買ってもらう。
 - 他の店とは違うものを安く売る。
 - ○安売りができるわけ
 - ・会社全体で一括購入をする。

4 本時(14/15) 交流・評価する活動 3年 組教室において

5 本時目標

○ スーパーマーケットで働く人々は、消費者の願いに合わせ、売り上げを高めるため の工夫を行っているということを考えることができる。 (思考・判断)

6 本時指導の考え方

本時指導にあたっては、「A:商品の品ぞろえに工夫があるから」と「B:買い物がしやすいように工夫があるから」の二つの考えをもとに、AとBの共通部分に目を向けた話し合い活動を行い、A店に客が多いのは消費者の願いに応えるために店が工夫しているからであることについて、考えることをねらいとしている。

そのために,以下のような手だてをとりながら,学習を進めていきたい。

手立て(1)自分の考えを友だちに伝える表現物づくり

○ 前時までに、画用紙に追究活動後の自分の考えとそのわけをまとめさせておく。

A:商品の品ぞろえに工夫 があるから		
資 料 ①	時間を決めて, 品質 チェックをしている。	
資 料 ②	毎週火曜日は安売り をしている。	

B:買い物がしやすいよう な工夫があるから				
資 料 ③	カートが 2 台同時に 通ることができる。			
資 料 ④	車で来てたくさんの 物を買うことができ る。			

- 考えのわけをキーワードを使って簡潔に表す。
- 友だちが納得できるように、考えのわけを、自分の言葉で順序よく説明できるように考えさせておく。
- 自分の調べたことをまとめた資料を作らせておく。

手立て(2)自分の考えを確かにする話し合い活動

- 学習問題に対する自分の考えとわけについて、表現物を活用して、「A:商品の品 ぞろえに工夫があるから」「B:買い物がしやすいような工夫があるから」の2人 の代表児童の考えを発表させる。
- A店が行っている工夫について付け加えをしていき、店の工夫がたくさんあることに気付かせていく。
- A の考えと B の考えの共通することについて考えさせ、どちらも消費者のニーズ に応えるための工夫であることに気付かせる。
- 「消費者のニーズに応えるばかりでもうけになるのか」という発問を行い、販売者の工夫は、消費者のためだけではなく、売り上げを高めるためにも行っているということを考えさせる。
- 「今日の学習で」を書く際は、友だちの考えを大切にしながら、自分の考えの深まったところを書かせる。

7 本時の展開

学習活動と内容

1 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確かめる。

めあて

A店にお客さんが多いのはなぜか話し合い、自分の考えを確かにしよう。

2 学習問題の答えを話し合う。

【A:商品の品ぞろえに工夫があるから】

- ① 新鮮な商品
 - 時間を決めて、品質チェックをしている。
 - とれたての野菜を毎日トラックで運んでいる。
- ② 安い商品
 - ・毎週火曜日は安売りをしている。
 - プライベートブランドの 商品がある。

だから、A店にはお客さん が多い。 【B:買い物がしやすいような工夫があるから】

- 広い通路
 - カートが2台同時に通る ことができる。
- ② 広い駐車場
 - ・車で来てたくさんの物を 買える。
 - ・遠くからも来ることができる。

だから、A店にはお客さん が多い。 支援

- 前時までの学習をふり返ることができるよう,使用した資料を教室に掲示しておく。
- 自分の考えを友だちに分 かりやすく伝えるために,考 えをまとめた表現物と,証拠 となる資料を作らせておく。
- 自分の考えと比べ,相違点 を考えながら,代表児童の話 を聞くよう指示する。

(1) 2人の代表児童の考えをもとに話し合う。

A店の工夫

【A:商品の品ぞろえに 工夫があるから】 /

- ・商品の種類が豊富。
- 季節に関する物の コーナーがある。

【B:買い物がしやすいよ 、うな工夫があるから】

- 看板がある。
- ・ATM がある。

客の願い

- ・一度にいろいろなものが買えるから来る。
- ・駐車場が広く、車で来てたくさん買えるから来る。
- 新鮮なお肉があるから来る。

7

С

消費者の願いに応えるための工夫である。

3 学習問題に対する、自分の考えをまとめる。

A店にお客さんが多いのは、お客さんのことを考えて、商品の品ぞろえの工夫をしたり、買い物がしやすいような工夫をしたりしているからだと分かった。

4 「今日の学習で」を書き,話し合いをふり返る。

最初は、安い商品があるからA店にはお客さんが多いと思っていたけれど、○○さんの発表を聞いて、それだけでなく、買い物がしやすい工夫もお客さんを集める工夫だと分かりました。

○ 学習問題の答えに迫るために、それぞれの考えに質問したり付け加えたりさせる。 さらに、販売者の工夫と消費 者の願いを関連付けて考えさせる。

○ 友だちの発表を聞いて,考 えが付け加わったことにつ いてまとめさせる。

4 本時 (7/12) 学習を見通す活動 3年 組教室において

5 本時目標

○ 学習問題に対する予想について話し合い、なぜ、A店は客が多いのか自分の予想を はっきりさせ、自分がこれから何について調べていくのかを明らかにすることができ る。 (思考・判断)

6 本時指導の考え方

本時指導にあたっては、「なぜA店はお客さんが多いのか」という学習問題について、各自が立てた予想とそのわけを見直し、追究の見通しをもつことをねらいとしている。 そのために、以下のような手だてをとりながら学習を進めていきたい。

手立て(1)自分の予想を友だちに伝える表現物づくり

○ 話し合い活動では、発表するときに、友だちに自分の予想のわけが分かるような 表現物を作成する。

A:商品の品ぞろえに工夫があるから わけ

たまごや牛にゅう等、同じ物でもいろいろなしゅるいや大きさがあって、自分がひつような物をえらぶことができるから。

B:お客さんが買い物しやすいように 工夫がされているから

わけ

買い物カゴをのせるカートがあって、 たくさん買い物をしても重くなくて助かるから。

手立て(2)追究の内容・方法を明らかにする話し合い活動

- 代表児童の予想を黒板にはり、「A:商品の品ぞろえの工夫」「B:お客さんが 買い物しやすいような工夫」ということが、本時の話し合いの中心になることを意 識させる。
- 自分の予想と友だちの予想との共通点に気付かせるために、まず、代表児童と似たわけを発表させる。その後、Aの予想(Bの予想)ではあるけれども、わけは違う児童へと発言を広げていく。
- 自分の予想にこだわりを持たせるために、AからBへ、BからAへの意見を中心とした話し合いの場を設定する。そのために「商品を売るためには、AとBのどちらが大切だろう」と発問をして児童にゆさぶりをかける。そこで、「買い物をする時に一番考えることは、新鮮で安全なものを安く買いたいということだから、絶対にAの予想だと思う」「駐車場がなくても買い物はできるからAだ」や「値段がそこまで変わらなければ、便利で買い物がしやすい所がいいので、絶対にBの予想だと思う」「種類がたくさんあっても閉まっていたら買えないので、遅くまで開いているお店の方がいいからBだ」等の、自分とは違う予想に対して意見を考えさせることで、自分の予想を肯定させる手だてをとる。

7 本時の展開

学習活動と内容

前時までの学習を想起し、本時のめあてを確かめる。

めあて

A店にお客さんが多いのはなぜか話し合い、見通しをもとう。

2 学習問題の予想を話し合う

A:商品の品ぞろえに 工夫があるから

わけ

卵や牛乳など,同じ物でも ことができるから。

B:お客さんが買い物しやすいよ うに工夫がされているから

わけ

買い物カゴをのせるカートが って,自分が必要な物を選ぶ||も重くならなくて助かるから。

- (1) 2人の代表児童の予想をもとに、付け加えや質問をする。
- AO いつも、新鮮なものが置いてあるから。
 - タイムサービスや半額のシールをはって、商品を安く売っ ているから。
- B○ 遠くに住んでいる人にも買い物に来てもらいたいので、駐 車場を広くしているから。
 - 買い物のついでにATMを利用できるから。
- (2) 2つの予想の違いを話し合う。
- ることは新鮮で安全なものを 買いたいということだから, 絶対にAの予想だと思う。
- ・駐車場がなくても、自転車 や歩いて行けるからやっぱり 商品のことが大事だと思う。
- ・買い物をする時に一番考え □・値段がそこまで変わらなけ れば, 便利で買い物がしやす い所がいいので、絶対にBの 予想だと思う。
 - 商品がたくさんあっても閉 ₹まっていたら買えないので遅 くまで開いているお店がいい。
- 3 学習問題に対する自分の予想を見直す。

わたしは、同じカレー粉で もCの製品があったりDの製 品があったり、量も大箱があ ったり小箱があったりして, やっぱりお客さんが必要な商 品をきちんとそろえているか ら, A店はお客さんが多いと 思いました。

わたしが買い物に行った時, お年寄りの人がカートを使って いるのを見たことがあります。

きっと、いろいろな人に来て もらえるように考えてお店の中 が工夫されているのだなと思い ます。だから、A店はお客さん が多いと思いました。

4 今日の学習をふり返り、学習の見通しを持つ。

わたしは、どんな商品が多 いのか確かめるために,何が どれくらいあるのか数えま す。

わたしは、通路の広さの工夫 を確かめるために、広さはどれ だけなのか, どこも同じにして あるのかをはかって調べます。

支 援

- 本時の学習に臨む準備とし て, 前時までに自分の予想を まとめた表現物を作らせてお < .
- 自分の予想をうまく表現で きない児童にも分かりやすい ように、代表児童は、理由と して具体的(卵や牛乳,カゴ) に説明ができている児童を選 5.
- 考えをつないでいくために まず,代表児童と似たわけを もつ児童に発言をさせる。
- 児童の思考にゆさぶりをか けるために,「商品を売るた めには、AとBのどちらが大 切だろう」と、発問を入れる。
- 自分の予想にこだわりを持 たせるために, 友だちの予想 との違いを考えさせたり、自 分の意見を友だちに伝えたり する。
- これから自分が調べていく ことを具体的に考えさせるた めに, 自分の予想とそのわけ を見直し,変更があれば変更 をさせる。
- 自分の考えが増えたことを がんばりとして自己評価させ るために, 話し合いで自分の 変わったところを書かせる。
- 自分の予想を確かめるため に、何が分かればよいのかを 書かせる。